

洲本市地域おこし協力隊 活動中間報告会 2025.10.31

洲本によりそい、
つなげる存在に。



洲本市地域おこし協力隊 毛利 優花

01. プロフィール

もうり ゆうか
毛利 優花

移住元：富山県富山市
委嘱日：令和5年5月1日

主たる活動

- 域学連携活動の推進
- 関係人口の拡大創出
- 外部人材の滞在活動拠点の整備・管理運営



01.プロフィール



暮れの藍



銀閣



01.プロフィール



これまでの協力隊活動日数

9 1 5

02. 洲本市の現状と課題

伸ばしたいところ

- キーマンが集まっているので、イベントやプロジェクトを実行しやすい。
- 新しい事にチャレンジしやすい。（受け入れてくれる）
- 活気ある商店街・街並みが、残っている。

改善したいところ

- 学生や社会人（移住/二拠点/ワーケーション）の拠点場所が少ない
- 広報・発信方法
- アイデアはあるが、「やってみたい」の実現方法やゴールがわからない。

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 活動拠点「よりまち荘」のブランディング -



関係人口の拠点として、活動拠点「よりまち荘」（本町7丁目）を整備中。
どんな人に来てほしいか、どんな事をしていくかをブランディングしていきます。

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 活動拠点「よりまち荘」のブランディング -



ロゴの制作

SNS発信



地域交流イベント「よりあいまちなかSUMOTO」

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 活動拠点「よりまち荘」のブランディング -

よりまち荘を利用した学生

2023年度

2024年度

2025年度^{※1}

50組 264名

61組 258名

31組 118名

※1 2025年4月～10月現在

9都道府 27大学・14団体

流通科学大学/神戸大学/大手前大学/武庫川女子大学/大阪芸術大学/近畿大学/大阪工業大学/
大阪大学/関西大学/大和大学/大阪国際工科専門職大学/阪南大学/大阪公立大学/流通科学大学
/神戸大学/大手前大学/武庫川女子大学/龍谷大学/エスノサンジョウ/京都芸術大学/京都工業
繊維大学/和歌山大学/奈良女子大学/奈良先端科学技術大学院大学/名古屋芸術大学/西南学院
大学/東京大学/日本大学/國學院大学/早稲田大学/宮崎大学/NPO法人トゥギャザー/豪田ヨシ
才部/吹田クリエイティブメンツ/ユニベル/NPO法人フライパン/ソトコト/京都府議会/
京都府/名城大学/大学・地域共創プラットフォーム香川/加子母木匠塾/洲本市議会総務常任委
員会/隠岐の島町議会/公益財団法人北海道市町村振興協会 など



2025年6月 洲本市議会総務常任委員会のみなさんも視察に来ました。

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 活動拠点「よりまち荘」のブランディング -

よりまち荘 ご利用の方 ご予約はこちら

よりまち荘 ホーム 活動について 予約 検索

よりまち荘って？

よりまち荘は、淡路島・洲本のまちなかにある、寄合（よりあい=話し合い）どころ。

洲本での活動や洲本に興味のある島内外の人々の交流拠点、および学生のまちなかでの滞在拠点となる場所を目指しています。

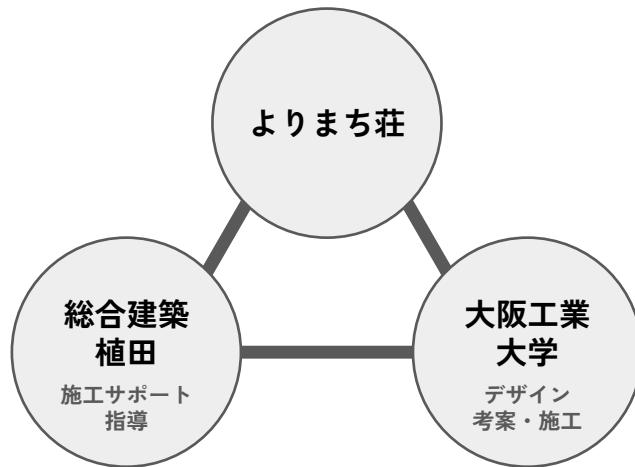
▷その他の活動はこちら

新たにホームページを作成し、予約システムを改善。
また、よりまち荘についての情報が集まる場所にしました。



2023 2024 2025

03.活動状況・実績 - よりまち荘リノベーションプロジェクト -



3年間で、「洲本によりそう」よりまち荘へ

2023 2024 2025

03.活動状況・実績 - よりまち荘リノベーションプロジェクト -



2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - よりまち荘リノベーションプロジェクト -



2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - よりまち荘リノベーションプロジェクト -



2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - よりまち荘リノベーションプロジェクト -

池にソーラーパネル、古民家改装…域学連携で成果 着々 兵庫・洲本

社会 | 速報 | 兵庫 | 関西

毎日新聞 | 2023/9/6 15:09(最終更新 9/6 15:09) | 有料記事 1101文字



「よりまち荘」のキッチンに床板を張る大阪工業大学生=洲本市で2023年8月17日午後1時半、入江直樹撮影

都市部の大学生らの知見や技能をまちづくりに生かしてもらう兵庫県洲本市の域学連携事業が10年を迎えた。2013年度のスタートからこれまでに計33校約850人と地域が協業、過疎化の進む地域の課題解決や活性化に成果を上げている。

高齢化率が県統計で38・0%と県内で11番目に高い洲本市。域学連携では主に京阪神エリアの学生を迎え入れており、交通費の一部と滞在施設をそれぞれ市が提供。地域おこし協

力隊も支援する。2年目の14年度以降は市単独事業として続いている。

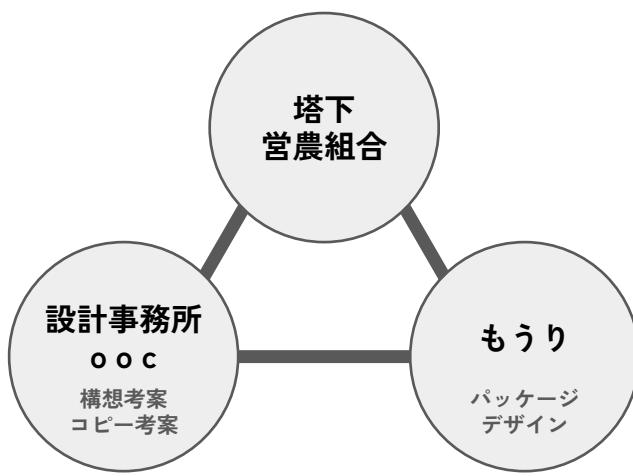
毎日新聞 2023年9月6日掲載

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 鮎原・塔下米「千の光」ブランディング -



パッケージデザイン

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 鮎原・塔下米「千の光」ブランディング -

神戸新聞 NEXT

ブランド米「千の光」誕生 洲本・鮎原塔下集落営農組合「担い手不足、農業の起爆剤に」

2023/10/22 05:00

WEB地域版

■女性グループがパッケージなど考案

淡路島産米の新たなブランドが誕生した。洲本市五色町鮎原塔下の農家でつくる「鮎原塔下集落営農組合」が有機肥料のみで栽培。豊かな水源をたたえる先山の千光寺（同市上内膳）にあやかり「千の光」と名付けた。同組合の井上淳組合長（70）は「担い手不足にあえぐ地域で農業の起爆剤にしたい」と力を込める。（内田世紀）

千光寺の「三重の塔」の下に位置することから名が付いたとされる塔下地区。約70世帯中約60世帯が農家で、高齢化率は7割近い。

少子高齢化や後継者不足が進む中、同地区の農家は国の方針に従い2021年2月、同営農組合を設立。農家約50軒、農地約40ヘクタールを集約し、農地の整備を進める。稲作のほかタマネギやブロッコリーを生産。15～20人ほどが農作業に参加する。



新たなブランド米「千の光」のプロジェクトに参加した女性たちと米の生産農家ら



掲載：神戸新聞 2023年10月22日掲載

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 鮎原・塔下米「千の光」ブランディング -



料理家・井口和泉さんが千の光を使ったワークショップを2ヶ月に1回実施。かわばたみそさんが千の光でつくる「米麹」も活用。

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 鮎原・塔下米「千の光」ブランディング -



掲載：神戸新聞

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 雜草を愛でてみる日 -



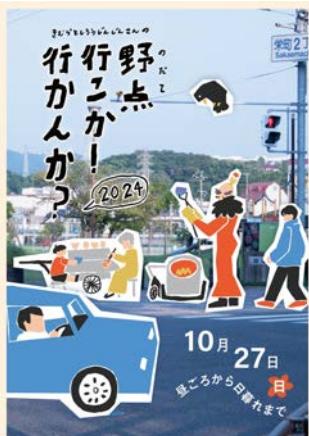
元協力隊の藤田さんと一緒に、喫茶刻々（五色鮎原）にて「野草」についてのWSを実施。普段は名前も知らない「雑草」と呼びそうな植物を見直すきっかけづくりに。

2023

2024

2025

03.活動状況・実績 - 淡路島アートセンター 野点行こか！行かんか？



2024年チラシデザイン



2025年チラシデザイン



2023

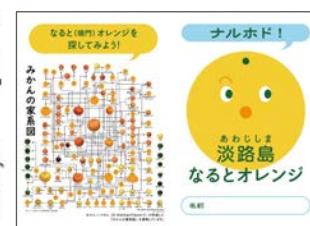
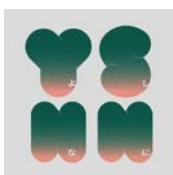
2024

2025

03.活動状況・実績 - 淡路島アートセンター どんどこ巨大紙相撲（一般の部）-



つづきはブースで！



協力隊任期がおわるまで...

1 8 1

.....はやい！

04.卒隊までに

- 運営を続けられるよう、**引き継ぎ方法を考える。**
(よりまち荘、よりあいまちなかSUMOTOなど)
- タブロイド **「よりまちのおたより」** を発行
- **仕事づくり** (ポートフォリオ作成)

05.卒隊後の活動について ~自分自身のこと~



06.さいごに

-自身が考える地域おこし協力隊の意義- -洲本市地域おこし協力隊の魅力-

- 移住者だからこそ、視点・価値観を大切にできる
- 活動の発信がしやすい
- 「協力隊」という肩書きが、他の活動や仕事に繋げやすい
- 他の都道府県の協力隊と繋がれるきっかけが作りやすい
(淡路市、南あわじ市、小豆島、愛媛市、阿久根市)
- 活動の自由度が高い

